



いよいよ1年間の「学び」のまとめへと入ります



春寒の候 保護者・地域の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。寒さ厳しき折、暖かな日差しが恋しい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。本年度も残りわずかとなり、子どもたちは最後の学期を充実したものにするべく、一日一日を大切に過ごしています。

2月は「如月(きさらぎ)」とも呼ばれます。この由来には諸説ありますが、「衣更着(きさらぎ)」、つまり寒さに合わせてさらに衣を重ねるとい説が有名です。まだ寒さが続く時期ではありますが、ふとした瞬間に春の訪れを感じることができるのもこの時期の特徴です。子どもたちも一人ひとりの歩みの中に、「もうすぐ春」という期待や喜びが少しずつ芽生え始めています。

1月には、どの学級も「書初め」をしました。子どもたちの作品には、一文字一文字に込められた想いや努力が感じられます。初めはうまくいかなかった子も、家や学校で練習を重ねる中で徐々に上達し、「できた!」と喜ぶ表情が見られました。こうした活動を通じて、日本の伝統文化に触れるとともに、集中力や丁寧さを養う良い機会となりました。今後も子どもたちが新しいことに挑戦し、自分の力を伸ばしていけるよう、学校全体で支えてまいります。

また、3学期は特に学年のまとめと次の学年への準備の期間でもあります。それぞれがこれまでの自分の成長を振り返り、次に進むために「自分ができること」を考えながら行動している姿が見られます。6年生にとっては小学校生活最後の学期です。仲間とともに過ごす貴重な時間を一層大切にしてほしいと願っています。

今月は、PTAリサイクル交換会や学習参観、学習発表会などがあります。ぜひこのような機会に子どもたちの1年間の「学び」と「成長した姿」をご覧いただきたいと思います。2月も子どもたちが健やかに成長できますように学校としましても精一杯努めてまいります。

引き続きまして保護者・地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2月と3月の主な行事予定

2月 3日(月) 全校朝会① 全校5校時下校
 2月 6日(木) 読み聞かせ
 なかよし学級発表会(学習参観)②
 2月13日(木) 学習参観② 1年生~5年生
 6年生学習参観(親子活動)③
 PTAリサイクル交換会①
 2月14日(金) PTA あいさつ運動
 2月17日(月) 家庭学習強調週間(~21日まで)
 2月18日(火) たてわり活動③(1年~5年)
 2月19日(水) 全校13:10下校(市教職員研修の為)
 2月20日(木) 読み聞かせ
 PTA安全パトロール
 2月25日(火) 給食指導 2い 2ろ

★家庭学習週間では進んで家庭学習に取り組めるよう、見守りと励ましをお願いします。

2月26日(水) 6年生を送る会②③
 給食指導 2は 2に
 2月27日(木) 短縮日課(~3/14)読み聞かせ
 北中入学児童説明会③
 3月 3日(月) 委員会⑥
 3月 4日(火) 4年生音楽鑑賞会⑤⑥
 3月 5日(水) 町別児童会⑤
 3月 6日(木) 読み聞かせ 6年生ありがとう集会③
 3月18日(火) 校友会入会式 1~4年給食後下校
 3月19日(水) 第71回卒業証書授与式 給食なし
 3月21日(金) 4校時 給食終了 給食後下校
 3月24日(月) 修了式 学年末休業
 (春休み~R7.4.7)

《 令和7年度 》

4月8日(火) 1学期始業式 入学式

1月の学校の様子



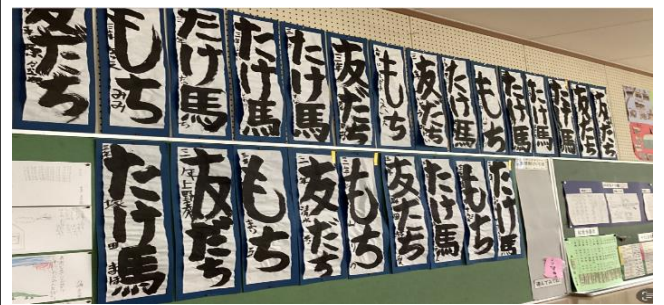
【避難訓練：不審者対応】学校に不審者が侵入したとき、どう行動すればいいか学習しました。みんなで声をたえず隠れます。



【給食週間：1月27日(月)～31日(金) 栄養探検がテーマです。写真の日は「郷土食」でした。毎日の給食が楽しみです



【手洗いチェック】保健委員会で「手洗い励行」を呼び掛けています。しっかり手洗いできるといいですね。



【校内書き初め展】冬休みから何回も練習した書初め。教室掲示に力作が勢ぞろいしています。すばらしい！

親として知っておいてほしい『スマホやゲームの依存症』

『依存』とは特定の何かに心を奪われ、頼ったり執着したりして手放すことができない状態になることです。人が依存する対象は様々ありますが、代表的なものに、アルコール・薬物・ギャンブルなどがあります。

このような特定の物質や行為・過程に対して、やめたくてもやめられない状態を『依存症』といいます。スマホやゲームの依存症は医学的に認められた疾患ではなく、現在のところ明確な定義は定まっていますが、世界保健機関（WHO）は国際疾病分類第11版（ICD-11）の中で、インターネットやゲーム等に没頭して生活や健康に支障を来す状態を「ゲーム行動症」として新たな精神衛生疾患に認定しています。

ひとたび『依存症』になってしまうと、本人の意志力だけで抜け出すことは困難です

脳内の神経伝達物質であるドーパミンは快楽ややる気をもたらす物質で薬物やアルコール依存等と同じく、ゲームやYouTubeもドーパミンの分泌を強かに刺激します。いずれその刺激に耐性ができ、さらに強い刺激を求めようようになっていきます。依存症は脳の中に報酬を求める回路ができあがり、コントロール不能に陥ってしまった脳の病気と言えます。強い意志を以てやめようとしてもうまくいきませんし、何度やめようと決意しても条件が揃えば繰り返してしまいます。大人でさえ抜け出すのが困難なのですから精神的に未熟な子どもが自発的にやめることは稀であり、落ち着くまでの期間は親が協力して機器を切り離さないかぎりやめることは困難です。またゲームやスマホに限らずどのような場面でも言えることですが、子どもと『約束（ルール）』を決める際には必ず『ペナルティ』とセットで行なうことが絶対条件です。約束とは必ず守られるべきであり、破っていいはずがありません。但し、ペナルティはあくまで『抑止効果』を狙うものであり、犯してしまった後の折檻の意味で『罰を与えること』ではないということを理解しておきましょう。どんなペナルティにするかは、自己決定の意味で本人にアイデアを出してもらうのがいいかもしれません。

スクールカウンセラー すずきしゅういち (*^_^*)